

社協みよし

7月号
社協みよし
2016
Vol. 55

第2回 西祖谷合同防災訓練



写真の紹介 : ⑥ページ やまびこちゃんのひとりごと

もくじ

- ▷ 2P 平成27年度事業報告・決算報告
- ▷ 3P 社協理事・評議員(欠員)の選任
- ▷ 4P
- ▷ 5P 贊助会員募集のお願い
- ▷ 6P 地域包括支援センターだより・老友ひろば
- ▷ 7P 平成28年度共同募金地域福祉推進事業ほか
- ▷ 8P 寄付のお礼・福祉総合相談ほか

平成27年度社協事業報告・決算報告

平成27年度事業計画に基づき、皆さまにご協力いただきました社協会費や寄付金をはじめ、市からの補助金や委託料、県共同募金会からの配分金、また介護保険事業等に伴う介護報酬で次の事業を実施しました。

事業 内容

会議等の開催

理事16名・監事3名・評議員37名で構成され、事業・予算及び決算関係等を審議、決定を行う会議を開催いたしました。

理事会5回、評議員会3回、監査1回
正副会長会2回、役員研修会1回

福祉総合相談事業

生活を送るうえでの困り事や悩み等の相談をお受けし、解決のお手伝いをしました。

一般相談 開設日数143日、受付164人
法律相談 開設日数12日、相談件数46件

ボランティア活動支援事業

(1) 情報の提供・斡旋

ボランティアの相談に応じ、活動先の紹介や情報提供を行いました。

(2) 福祉教育の推進

学校・施設への福祉機器の貸出や出前講座を行いボランティアの啓発を行いました。



(3) 養成研修事業

小中学生が参加する夏休みボランティア体験学習やボランティアの輪を広げる初心者講習会を開催しました。

ボランティア登録

56団体、1,856人



善意銀行事業

個人や企業等からの寄付や香典返しやチャリティー収益の一部等を善意銀行を通して地域福祉活動に役立てました。

寄附件数50件、金額1,473,445円

日常生活自立支援事業

障がい等により判断能力が十分でない方の福祉サービス利用に関する援助や日常生活上での金銭管理を行いました。

相談・問合せ459件 実利用件数39件

福祉啓発PR活動

(1) 社会福祉大会の開催

三好市において多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方に対し表彰・感謝状の贈呈を行いました。同時にふれあい広場を開催し幅広い世代の参加を促しました。

表彰 個人12名、1団体
感謝状 個人3名、4団体
参加者約1,500人



(2) ホームページの開設

最新情報を掲載し、義援金やボランティア募集など社協の情報をホームページをとおして随時発信しています。

アクセス数5,693件
(HPアドレス <http://miyoshicity-shakyo.jp/>)

広報活動

社協広報みよしを年6回発行し、福祉に関する情報を地域の皆さんに発信しました。



配布 市内全世帯・関係機関

地区住民福祉協議会(地区住協)活動支援

市内に組織されている64地区住協では、旧町村ごとに連合会を設置して定期的に情報交換を行いました。また、各地区住協が策定した第二次地域福祉活動計画に基づき、高齢者等が交流を図るふれあいきいきサロンや自主防災訓練、健康増進のためのスポーツ大会や要援護者把握のためのネットワーク会議等、自主的に行われる活動を支援しました。

ふれあいきいきサロン開催202ヶ所
会食会・見守り訪問等60地区
環境美化活動79地区
防犯・防災訓練29地区
子ども支援活動13ヶ所
講習会等開催21ヶ所
イベント開催等



第二次地域福祉活動計画の推進

平成27年度から5年間を計画期間として地区住協を中心に第二次活動計画を実践しています。この計画が絵に描いた餅にならないよう年度末には計画の進捗管理と評価を実施しています。また実践してきた事業活動の成果について検証するため地域福祉活動計画策定委員会を開催し協議しました。

活動計画評価会議 市内全地区住協64回
各地区策定委員会6回
市策定委員会1回

ささえあいネットワーク事業

各地区住協ごとに、地域にお住いの要援護者の実態把握を行い、いざ！の際に効果的に対処できるよう情報共有を行っています。また、必要な福祉情報を提供するとともに各地域の状況把握も行っています。

ささえあいネット
ワーク会議
市内全地区住協64回



地域包括支援センター事業

- 介護保険や権利擁護等に関する相談を2,665件受け、適切な対応を図りました。
- ネットワーク構築のための会議の参加や地域ケア会議等の開催は183回実施しました。
- 介護予防給付のケアプランは8,550件作成しており、その内528件は業務委託しています。
- 二次予防介護予防ケアマネジメント業務では1,173件の対象者の実態把握を行い98件のケアプランを作成しました。
- 主治医と介護支援専門員との連携体制の構築のため、関係機関と協議を9回実施しました。

受託事業関係

- (1) 地域支援事業
きらめき元気アップ教室の実施
- (2) 障がい者移動支援・訪問入浴サービス事業
- (3) 地域いきいき事業
高齢者の介護予防の普及啓発
- (4) 障害者社会参加促進事業
 - ボランティア活動支援
地域の交流を通して社会参加の中から生きがいを持つことや自立支援に向けて支援しました。
 - 声の広報発行
視力障害を持つ方に録音朗読により市広報誌等の生活を営む上で必要度の高い情報を月1回提供しました。
 - スポーツ・レクリエーション教室開催
健康維持と体力増強、交流を図るためにスポーツ大会を開催しました。

各支所独自事業

- (1) ふれあい郵便事業
池田支所では月1回一人暮らし高齢者宅へ郵便局員の協力により手渡しによる安否確認を行っています。届ける手紙やハガキは小中学校の児童生徒や地区住協に協力いただいている。

送付数 2,113通



- (2) 食事サービス事業

一人暮らし高齢者等の世帯に月1回、調理・配食ボランティアにより手渡しによる安否確認を行っています。

(年間) 三野支所452食
井川支所734食
山城支所515食



生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や障害者世帯等に対し資金貸付と相談支援を行い経済的自立や社会参加の促進を図りました。

相談援助43件

障害者地域共同作業所「愛生」運営

精神及び知的障害のある方を対象にEMボカシづくりやしいたけ栽培等の作業をボランティアと一緒に実施し自立支援を行いました。

利用者10名、開所242日、延通所人数943人

介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業
他機関との連絡調整機関としての機能の充実に務めました。
- (2) 訪問介護事業
利用者のニーズに対応するため、365日のサービス提供体制の保持に努めました。
- (3) 訪問入浴介護
- (4) 通所介護
利用者が可能な限りその居宅において自立した生活を送れるよう清潔保持や心身機能の維持向上に努めました。
- (5) 福祉用具貸与（特定）
利用者の生活環境を踏まえ、適切な福祉用具の選定の援助、調整を行い利用者や介護者の負担の軽減に努めました。
- (6) 訪問看護事業
医学的な管理が必要な要介護者等に在宅で療養生活が送れるよう支援に努めました。

障がい者総合支援事業

- (1) 障がい者ホームヘルパー派遣事業
- (2) 障がい者デイサービス事業

会計決算

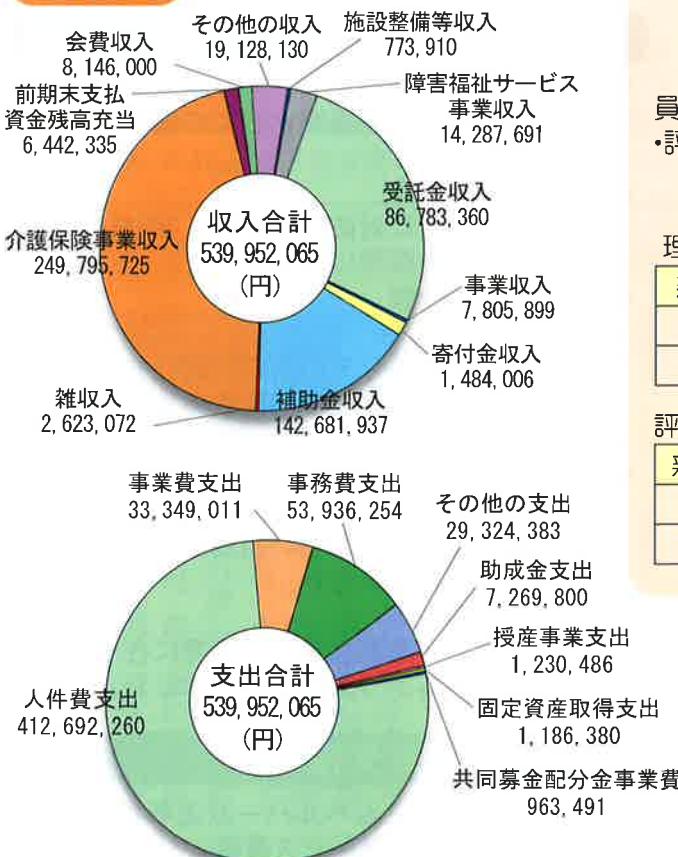
貸借対照表 【平成28年3月31日現在】

単位：円

資産の部	
勘定科目	金額
流動資産	217,434,305
現金預金	152,826,466
事業未収金	40,145,169
未収金	16,351,248
未収補助金	7,477,000
貯蔵品	126,461
立替金	478,740
前払金	29,221
固定資産	445,946,569
基本財産	53,387,936
建物	47,387,936
定期預金	6,000,000
その他の固定資産	392,558,633
機械及び装置	153,069
車両運搬具	1,449,504
器具及び備品	3,633,097
退職手当積立金基金預け金	287,912,450
退職給付引当資金	17,000,000
賛助会費積立資産	9,220,760
財政安定化積立資産	72,981,183
差入保証金	10,000
リサイクル預託金	198,570
資産の部合計	663,380,874

負債の部	
勘定科目	金額
流動負債	46,477,211
事業未払金	32,905,079
その他の未払金	10,652,197
預り金	240,658
職員預り金	2,679,277
固定負債	377,598,070
退職給付引当金	377,598,070
負債の部合計	424,075,281
純資産の部	
基本金	6,000,000
基本金	6,000,000
国庫補助金等特別積立金	954,375
国庫補助金等特別積立金	954,375
その他積立金	82,199,843
賛助会費積立金	9,218,660
財政安定化積立金	72,981,183
次期繰越活動増減差額	150,151,375
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	150,151,375 △37,651,801
純資産の部合計	239,305,593
負債及び純資産の部合計	663,380,874

収支決算



理事・評議員(欠員)の選任

三好市社会福祉協議会の理事会(5月23日開催)、評議員会(5月30日開催)において欠員となっていました理事・評議員を選任しました。

今回選任された理事並びに評議員は次のとおりです。

理事(任期:H28年5月30日～H29年6月30日まで)(敬称略)

新理事氏名	選出区分	前理事氏名
大西一雄	地域組織(西祖谷)	野地 稔(故)
近泉 裕久	学識経験	新居 政昭

評議員(任期:H28年5月23日～H29年5月31日まで)(敬称略)

新評議員氏名	選出区分	前評議員氏名
岸本 和宏	行政	大西 道夫
伊丹 征治	市議会	西内 浩真



募集

平成28年度 賛助会員募集のお願い

みなさまの会費が地域の福祉を支えます！

社会福祉協議会では、「住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域に必要とされる“社協”となるために地域福祉活動を積極的に展開しています。地域福祉活動を推進するための財源は、みなさまからの会費によって支えられています。8月は会員増強月間として会員募集のお願いにうかがいますので、多くの方に会員になっていただき、運営にご協力くださいますようお願いいたします。

社協あのね

社協(社会福祉協議会)ってなあに?

社会福祉協議会は略して「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。社協は、今後ますます増えることが予想される地域の問題に対し、地域のみなさまと課題を把握・共有し、様々な事業活動をとおして地域によるささえ合い、助け合い活動を支援する民間団体です。

社協あのね

会員って、だれ?

社協の地域福祉活動にご理解とご賛同をいただき、会費を納入することで、地域福祉に参加してくださる方です。



賛助会員年会費（一口）

一般会員	1,000円
団体会員※	5,000円
特別会員	10,000円

※各種福祉団体による会費

会費の使い道は?

みなさまにご協力いただいた賛助会費は、市内64か所に組織され、中心となって地域福祉活動を担っている地区住民福祉協議会「地区住協(ちくじゅうきょう)」への活動助成や、第二次地域福祉活動計画の円滑な推進のための各種事業、社協広報誌の発行などによる福祉の広報啓発事業など、地域福祉の貴重な財源としてみなさまの住む地域で生かされています。

社協広報啓発事業費

115円

「もっと読まれるために」をモットーに、必要な情報と社協のことを分かりやすく記事にして広報誌を年6回発行しています。また、ホームページを開設し情報発信しています。



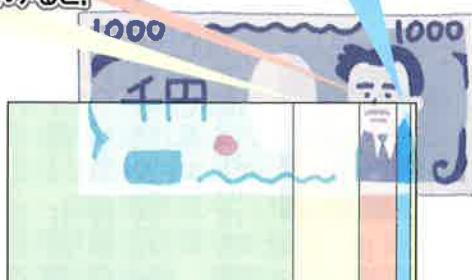
<http://miyoshicity-shakyo.jp/>

地域リーダー養成研修事業費

18円

地区住協で活躍している方のフォローアップ研修や地域福祉活動の担い手の発掘・人材育成のためのリーダー養成研修を開催しています。

会費の使い道を一口千円で見てみると!



社会福祉大会・ふれあい広場開催事業費

163円



福祉関係者が一堂に集まり、社会福祉の更なる充実に向けて啓発しています。また、多くの団体やボランティアの連携によりふれあい広場を開催し、福祉の魅力を発信しています。

地区住協活動助成金

700円

市内64の地区住協へ活動費の助成を行っています。地区住協では、いきいきサロンや災害に備えた救助訓練、ひとり暮らし高齢者等への見守り活動など、助成金を財源として地域の特色を活かしたさまざまな事業を実施しています。



地域福祉の推進基盤を充実させるための経費

4円

民生・児童委員の協力による実態把握調査を基に、地域で開催される「さえあいネットワーク会議」を支援し、要援護者などを地域福祉台帳に整理するなど、地域福祉を推進するための基盤の充実化を図っています。

みよし地域包括支援センターだより



認知症サポーター

明日のわたしのためだから…
認知症サポーターになってください



「認知症サポーターキャラバン」は平成9年から始まり全国で展開されています。認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る、認知症サポーターを一人でも増やし安心して暮らせるまちを、みんなでつくっていくことを目指しています。

<全国の認知症サポーター数 合計 7,503,883人>

認知症サポーターとは

認知症サポーターは、何か特別なことをする人たちではありません。認知症を正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援団として自分の出来る範囲で活動します。自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

認知症の人の杖になる

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれない悲しんでいるのは本人です。周囲の人が理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でやれることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間杖」を増やしていくことが重要です。



サポーター養成講座を受講した人が「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の「オレンジリング」が渡されます。



「認知症サポーター養成講座」

開催日時：平成28年8月23日(火)午後2時～3時30分

開催場所：三野老人福祉センター 2F 集会室

定 員：30名(・住民・地域の生活関連企業・団体活動等に携わる人・学校関係者)

申込先：みよし地域包括支援センター三野支所 TEL77-2882 (本所 72-5877)

※「認知症サポーター養成講座」は、あなたの地域で開催できます。詳しくは、みよし地域包括支援センターまでお問い合わせください。



松林廣義さん

会長に就任しました

した。

今年度は、任期満了による役員改選があり、10名の理事が退任され、新しい会長に松林廣義さん（白地緑寿会）が就任しました。

平成18年の市老連創立から10年の長きにわたり会長として卓越したリーダーシップを発揮され、大きな成果を上げられました伊丹一夫前会長は、市老連の相談役として顧問に就任されました。

老友ひろば

三好市老人クラブ 連合会総会の開催



ダイヤモンド婚者の様子



～じぶんの町をよくするしくみ～



公募

平成28年度共同募金地域福祉推進事業

徳島県共同募金会三好市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金事業として三好市内で行う地域福祉活動や地域活性化事業に対して、活動費の助成を行います。共同募金を地域の皆様にも有効活用していただき、地域の活性化に繋げてください。

助成事業の詳細については三好市社協各支所までお問合せください。要綱等の必要書類をお渡しいたします。



助成対象	地域住民を対象とし、地域福祉の推進に関する事業 (例) 小地域たすけあい活動、まちづくり活動、青少年育成事業、ボランティア講座、研修会等
助成額	1団体につき3万円以内(3団体)
事業実施期間	交付決定日～平成29年2月28日(火)まで
申込締切	平成28年7月29日(金)
選考方法	書類、プレゼンテーション等による選考を行います。
問合せ・申込先	三好市社会福祉協議会内 三好市共同募金委員会 三好市池田町サラダ1884-4 TEL:72-5715 FAX:72-5720



あんしん手帳

～日ごろの備えを万全に！～

「あんしん手帳」は民生・児童委員及び関係各位のご協力のもとひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などが、住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう支援することを目的に、配布しています。

平常時には、身近な方や相談窓口の連絡先を記入いただき、緊急時においては「あんしん手帳」を見れば、緊急連絡先が救助者に一目で分かるものとなっており、テレビや電話の近くなど、緊急時等に目に付きやすい場所に置いていただいている。

緊急連絡先や病院など、記載する内容については、記入のお手伝いをしていますので、「あれば安心」とお思いの方やすでにお持ちで「内容を更新したい」という方についても、社協各支所にお気軽にご相談ください。



●開催日 年4回(1・3・7・10月)
●場所 杉ノ木分館

立石地域では、各自治会が中心になつていきいきサロンを運営しています。紹介するあじさい会では、毎回20～30名が参加し様々な講習会やレクリエーションを実施して、親睦を深めながら楽しい時間を過ごしています。

実りあり、笑いありの一冊となっています。

●開催日 年2回
●場所 恵泉館

政友地域では、地区住協の主催により校区全域を対象として、いきいきサロンを開催しています。主に介護予防体操を行つて健康増進に役立てています。その他、いろいろなレクリエーションを行うことで笑い溢れる楽しいサロンになっています。



井川地区 立石地区あじさい会
ふれあいサロン

山城地区 政友いきいきサロン

三好市内には、現在69団体がいきいきサロンを運営しており、地域の人々のふれあいの場となっています。皆さんも身近な地域で実施されているサロンに参加してみませんか？

地域のサロンによること

No.6

寄付のお礼

次の方々から社会福祉協議会にご寄付をいただきました。

善意銀行 (4月1日～5月31日受付分)

■ 一般寄付

西川 勇 様 (三野町)

■ 香典返し

西川 力ネ子 様 (西祖谷山村)

ご寄付は社会福祉事業に有効に
活用させていただきます。

ありがとうございました。

広報

第3回 三野福祉まつり

とき 平成28年8月28日(日)
9:30～15:30

場所 三野体育館(三好市三野町芝生)
主催 三野地区住民福祉協議会連合会
上映 (12:30～)

『薦監督～高校野球を変えた男の真実～』

地域の皆様からいただいた善意銀行を財源として開催します。自玉行事として、地元三好市出身の薦哲一郎監督をお招きし、トークショー及び最新作映画の上映会を予定しています。またチャリティーバザー・健康チェック・作品展示等を行います。

薦 哲一郎 氏
祖父は池田高校野球部の元監督・薦文也



福祉総合相談

悩み

困りごと

心配

日々抱えるさまざまな悩みや法律的な問題について、相談員や弁護士が相談に応じます。
相談は無料です。お気軽にご相談ください。

法律相談

弁護士：大西聰法律事務所 所属弁護士

※法律相談は事前予約が必要です。

平成28年8月4日	第1木曜日	社協本所・池田支所	13:00～16:00	72-5715
平成28年9月1日	第1木曜日	西祖谷山村老人福祉センター	13:00～16:00	87-2088

一般相談

日常生活上の悩み、心配ごとに関する相談

※祝日の場合は、日程を変更いたします。

三野支所	第3木曜日	13:00～15:00	77-2882	三野老人福祉センター
井川支所	毎週火曜日	13:00～15:00	78-3140	井川老人福祉センター
池田支所	毎週水曜日	13:00～15:00	72-5885	社協本所・池田支所
山城支所	第3水曜日	13:00～15:00	86-2434	三好市山城支所
西祖谷支所	第3木曜日	13:00～15:00	87-2088	西祖谷山村老人福祉センター
東祖谷支所	第2木曜日	13:00～15:00	88-2688	祖谷の歴史館

※上記の日程において相談員が電話による相談も受け付けています。



6月17日、西祖谷中学校グラウンドで村内の小中学校や婦人会、地区住協、老人クラブ約100名が合同で災害に備えた訓練を行いました。消火訓練、炊き出し訓練の後、体育館で口赤の大型紙芝居「はなぶるのコスモス」を披露し、避難所江戸三一症候群予防として健康体操を実施しました。



広報誌のご意見 ご感想をお寄せください

社協広報誌をご愛読いただきありがとうございます。本誌をより充実させるため、皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。お寄せいただいた方には三好市社協オリジナルプレゼントをお送りします。